

別紙
(回答No.4 及びNo.9)

古民家を活用したまちづくりに関する事前調査 調査票

「古民家」とは、法律上明確な定義はないものの、本照会において以下のいずれかに該当するものとして回答してください。

・明治・大正・昭和初期（昭和25年11月の建築基準法施行以前）に建築された住宅
※該当するか不明な場合は、市町村における概ねの判断で回答可

1. 回答者情報

	部署名	担当者氏名	電話番号	メールアドレス
〇〇担当				
〇〇担当				
〇〇担当				
〇〇担当				
〇〇担当				

※「〇〇担当」は、「住宅担当」、「観光担当」、「文化財担当」、「商業担当」など、各市町村の実情に応じて、適宜記入してください。

※本照会に関する連絡先窓口となる担当を、一番上の行に記載してください。

2. 古民家地区の存在状況

市町村内に古民家が一定数集まっている地区（該当に✓してください。）

- ある
 ない

※該当するか不明な場合は、市町村における概ねの判断で回答可

上記で「ある」と回答の場合は、下記（1）～（4）を記載してください。 （1）地区名（地区が複数ある場合は全て記載してください。） （2）古民家地区の特徴（成り立ち（例：漁村、商家町、宿場町、城下町、寺内町、門前町）、伝統的建造物の残存状況、連続した町並みの残存状況 など） （3）地区内の古民家の概数（〇棟程度など正確でなくても分かる範囲で結構です。） （4）その他特記事項（文化財指定建造物の有無、景観計画区域等の指定の有無 など）

上記で古民家地区が「ない」と回答の場合は、以上でアンケート調査は終了です。（3.以降の回答は不要です。）

3. 地域のまちづくりプレイヤーの状況

市町村内に古民家を活用した地域のまちづくりのプレイヤー（候補者含む）の状況（該当に✓してください。）

- いる
 いない

上記で「いる」と回答の場合は、下記を記載してください。

（1）地域のまちづくりのプレイヤーの属性（例：まちづくり会社、自治会、NPO、一般社団法人、商店街組織 など）

（2）地域のまちづくりのプレイヤーの活動内容（まち歩き、観光案内、古民家活用事業イベント、空き家バンクの活用 など）

4. 古民家について地域が抱える課題

（例：空き家の増加、交通アクセス、所有者の高齢化、観光受け入れ環境の不足 など）

【自由記述欄】

5. 古民家コンバージョンの可能性（市町村としての見解）

次の用途への再生の可能性について、市町村としての見立てをご回答ください。（例：宿泊施設、飲食店・カフェ、物販・地域産品販売、観光拠点（案内所、インフォメーション等）交流スペース、アート・文化拠点 など）

【自由記述欄】

6. 市町村としての支援意向

(1) 事業地区に選定された場合の関与意向 (該当に✓してください。)

- 積極的に連携したい
- 必要に応じて連携可能
- 情報提供を中心とした限定的な関与
- 関与は難しい

(2) 提供可能な支援 (複数回答可) (該当に✓してください。)

- 地域住民との調整
- 地域団体 (まちづくりのプレイヤー) との橋渡し
- 空き古民家情報の提供
- 景観・観光計画との連携
- その他 (具体的に記載してください。)

7. その他

本事業についてその他ご意見等があればご記入ください。

【自由記述欄】